

デザイン工学部 建築・環境デザイン学科 (高等学校教諭一種免許状・工芸)

	科目区分	授業科目	単位数	最低修得単位数	配当年次	備考	
教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	日本国憲法	日本国憲法	②		1年 前	○	
	体育	スポーツ科学実習	①		1年 前	○	
		運動科学	②		1年 後	○	
	外国語 コミュニケーション	英語 (Listening&Speaking) 1	1	②	9以上	1年 前	○
		英語 (Listening&Speaking) 2	1			1年 後	○
		英語 (Listening&Speaking) 3	1			2年 前	○
		英語 (Listening&Speaking) 4	1			2年 後	○
		TOEIC 上級 (Listening) 1	1			2年 前	○
		TOEIC 上級 (Listening) 2	1			2年 後	○
		初修外国語入門1 (ドイツ語)	1			1年 前	○
		初修外国語入門1 (中国語)	1			1年 前	○
		初修外国語入門1 (フランス語)	1			1年 前	○
		初修外国語入門2 (ドイツ語)	1			1年 後	○
		初修外国語入門2 (中国語)	1			1年 後	○
		初修外国語入門2 (フランス語)	1			1年 後	○
		初修外国語初級1 (ドイツ語)	1			2年 前	○
		初修外国語初級1 (中国語)	1			2年 前	○
		初修外国語初級1 (フランス語)	1			2年 前	○
		初修外国語初級2 (ドイツ語)	1			2年 後	○
		初修外国語初級2 (中国語)	1			2年 後	○
	初修外国語初級2 (フランス語)	1	2年 後	○			
	数理・データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	デジタルプレゼンテーション論	2	②	1年 前	○	
		CAD・CG論	2		1年 後	○	

<備考欄の記号について>

- ・・・卒業要件単位数に入る科目
- ◎・・・卒業要件単位数に入る科目 (かつ、履修申請可能単位数を超えて履修申請可)
- ・・・卒業要件単位数に入らない科目 (履修申請可能単位数を超えて履修申請可)

(単位数を○でかこんだものは必修科目)

免許法施行規則に定める科目区分及び各科目に含めることが必要な事項		授業科目	単位数	最低修得単位数	配当年次	備考	
教科及び教科の指導法に関する科目	図法・製図	建築設計製図法	②	30以上	1年 前	○	
		デザイン	アートとデザイン		2	1年 前	○
	プロダクトデザイン論		②		1年 後	○	
	造形計画論		②		2年 後	○	
	CAD・CG演習Ⅰ		②		2年 前	○	
	CAD・CG演習Ⅱ		②		2年 後	○	
	CAD・CG論		②		1年 後	○	△
	工芸制作（プロダクト制作を含む。）	クラフトデザイン演習Ⅰ	4		⑧注)1	3年 前	○
		クラフトデザイン演習Ⅱ	4			3年 後	○
		プロダクトデザイン演習Ⅰ	4			3年 前	○
		プロダクトデザイン演習Ⅱ	4			3年 後	○
	工芸理論・デザイン理論・美術史（鑑賞並びに日本の伝統工芸及びアジアの工芸を含む。）	西洋美術史	2		30以上	2年 前	○
		日本美術史	②			2年 後	○
		デザイン史	2			2年 前	○
アート論		②	2年 前	○			
デザインマテリアル論		2	2年 後	○			
クラフトデザイン論		②	1年 後	○			
各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	工芸科教育法 1	②	30以上	3年 前	●		
	工芸科教育法 2	②		3年 後	●		
教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育原理	②	59以上	1年 後	●	
	教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）	教職入門	②		1年 前	●	
	教育に関する社会的、制度的又は経営的事項（学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。）	教育制度論	②		2年 前	●	
		人権教育	2		2年 後	◎	
		生涯学習論	2		2年 前	◎	
	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	②		1年 前	●	
	特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	②		2年 後	●	
	教育課程の意義及び編成の方法（カリキュラム・マネジメントを含む。）	教育課程論	②		3年 前	●	
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	総合的な探究の時間の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	②	26以上	3年 後	●	
	特別活動の指導法	特別活動及び総合的な学習の時間の指導法	②		3年 後	●	
	教育の方法及び技術	教育方法論	②		1年 後	●	
	情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	教育とICT活用	①		3年 通年集中	●	
	生徒指導の理論及び方法	生徒指導・進路指導論	②		2年 前	●	
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	生徒指導・進路指導論	②		2年 前	●	
	教育相談（カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。）の理論及び方法	教育相談の理論と方法	②		2年 後	●	
	教育実践に関する科目	教育実習	教育実習 1		①	選択必修	3年 通年
教育実習 2a			4	4年 前期集中	●※工芸と中学校美術を取得の場合に履修		
教育実習 2 b			2	4年 前期集中	●※工芸だけを取得の場合に履修		
教職実践演習		教職実践演習（中・高）	②	4年 後	●		
大学が独自に設定する科目	道徳教育の理論と方法	2		2年 後	●		

- 注) 1. クラフトデザインコースの学生は、「クラフトデザイン演習Ⅰ」、「クラフトデザイン演習Ⅱ」を、プロダクトデザインコースの学生は、「プロダクトデザイン演習Ⅰ」、「プロダクトデザイン演習Ⅱ」を履修してください。
2. 備考欄中の△印は、「文部科学省令で定める科目（教育職員免許法施行規則第66条の6の定める科目）」の「情報機器の操作」指定科目
3. 備考欄中の※について
 「教育実習 2a」と「教育実習 2b」はどちらか一方しか履修できません。どちらか一方を必ず履修してください。
 高等学校教諭一種免許状・工芸と中学校教諭一種免許状・美術の両方を取得の場合は「教育実習 2a」を履修してください。
 高等学校教諭一種免許状・工芸だけを取得の場合は「教育実習 2b」を履修してください。